

ひまわり

道退教胆振・室蘭支部

<支部長> 木村政幸

<事務局>

苫小牧市宮の森町

2-14-5

山口 徹 方

☎0144-74-0320

近年に無い暖かい日が続き、紅葉らしい紅葉を見ないうちに冬の季節を迎えました。3・11の復旧も遅々として進まない中で、国民生活への様々なしわ寄せだけが進み、腹立たしい限りです。交流会に取り組めないでいる内に、民主党・自民党等々の思惑の下、12月16日(日)の衆議院選挙となりました。この一ヶ月、それぞれ各地域で奮闘されることと思います。

寒さと道路の凍結など、お互い怪我や健康管理に気を付けながら頑張りましょう。26号以降に届いた便りなどを載せました。御一読下さい。

一 駆け込み寺でのたまたかい

安藤 忍

私もついに古希を過ぎた。それでもこの歳で不登校の子どもたちと向き合っている。

5年生の時、左腕にリストカット12本付けた中3の子どもにも接した。長い髪をだらりと下げ、決して上を向くことがなかったので目を見ることが出来なかった。今、髪も短くし、きりっとしたチャーミングな笑顔を取り戻し明るい女性として入試に立ち向かっている。

釣りが大好きで学校にも行かず勉強が大嫌いという中3の男の子もいる。なぜかこの教室に来る。そして高校に行きたいと言う。

ある時、1号の鍾は何グラム?と聞いた。わからないというから携帯で釣具屋にその場で聞いた。すると男の子は鍾の話に乗ってきた。テグスの話もした。満干潮・なぎ・海風などよく知っていた。雲が好きなこと、天気図も見ているという。すると「こんな勉強ならいい」と喜んだ。

うわさを聞いて母・子で訪れた中2の女の子がいた。涙を一杯浮かべ母の前で泣いた。おどおどして教室に入った。次の日、自らの意志で教室にやってきた。そして次の週、学校に行ったという連絡が入った。

なぜ、子どもは立ち直ろうとするのか、そして立ち直っていくのか。それは、子どもは立ち直ろうという意思を持っているからだ。さらにこの教室が自由だからであり、サポーターが人間として優しく接しているからだ。ルールはあるが規制はなく、本人の意思に従って生活することを貫いている。この駆け込み寺、ますます困難な子どもたちの現実に直面している。

体調はいかがですか。

(しばらく総会にも参加できず、失礼しています。

小生、昨年8月前立腺にがんのうたがいありとの診断で精密検査の結果、やはりがんとの診断を受けました。

以後「前立腺特異抗原」の抑制治療に入り、現状に至っています。
(PSA)

最初の検査では、PSA値が平常の40倍くらいあったのですが、現状は注射(3ヶ月毎)と内服薬により健康な人の示す平常値まで下って、やや人よりは頻尿がみである以外は普通に生活しています。

知的障害者の団体の事務局の仕事も、NPO法人を取得することになり、今は自由の身になっています。

年向8回程ある全道各地を会場に開かれるソフトマスの全道大会も体調と相談しながら年4~5回の参加に抑えています。何分会场か遠くは和基や当麻でも開かれるので、近い所には行って参加している状態です。

最近「九条の会」をはじめ、民主団体の開催する会にも「お客さんで参加?する程度、積極的な対応が出来なくなっているのが淋しい限りですがね、なにはともあれ、前向きに、陽気に生活するようにかけています。

なうち、体調が許せば行事に参加したいと思っています。

小生も80才と5ヶ月をむかえ、この大会に行っても「寿の部」に入れられることになってしまわず、いつまで走りまわることが出来るかわかりませんが、マイペースで行きたいと思っています。

以上近況報告です。

2012.9.19

佐藤 輝

九月お中旬だといふのにこの暑さはどうなっているのだろうか。北海道人は皆喜んでいるのではないですか。

九州にしかない「カササギ」といふ鳥が、江戸でも自立のようになり、海の魚にも異変が起きているようです。

例年より、山に入ってきのこや山菜などの収穫を楽しんでおられる方が、今年は全く勝手な気が、暖かさも余り気味。この方が多いので、竹浦から向本町までの10kmを自転車往復したりして体力維持に努めています。伊達の子藤さんも自転車行動しているようですが、エコロジーの節約、環境保全、健康維持といいことはかりなので、時間もおもい、いい思案者です。是非お勧めします。

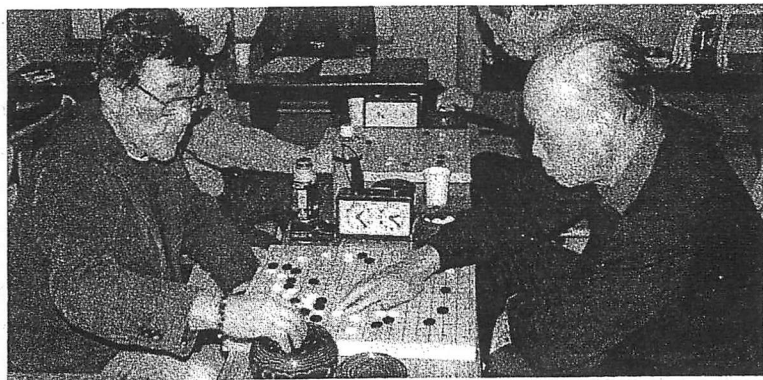
この夏、町主催の「学習地域健」にボランティアとして参加してきました。6年ぶりにめんこい子と遊ばせると過ごし、孫と遊ぶより気持ちよかったです。子供と遊ぶときは、無責任の気楽さがお互いにいいのかもしれません。

冬休も行くとは。今から当分にはい
るよかなので、地域人のヒレヒレに
手伝っていろいろ思っています。

教師生活36年で、経験した7校のうち
可成り2校は肉親、3校は2校は肉親に
なりす。中絶校すら、国の個性配置
という政策によって、地域から学校が
消えていくことに憤りを感じている。
経済論理が優先し、教育条件が
ないがしろにされる国策で、
教育、学校が荒れ、子どもたちが
粗末に扱われる今の時代、
後生に必ず禍根を残すことになるだろう。

2012. 9. 6

岡澤



第16回
全道囲碁交流会

—— 第16回全道囲碁交流会に参加 —— 木村政幸

第16回全道交流囲碁交流会が、11月5日(月)にあり参加しました。
第1回大会に参加して以来ですから、実に15年ぶりです。

その時に参加していた、高橋二段(札幌)と藤田四段(札幌)もおり、
健在でした。

会場はリフレ札幌です。案内図では、南郷18丁目から徒歩9分とあり
ました。しかし、道に迷い30分以上かかってやっと着きました。

普段歩いていないので、へとへとに疲れてしまい、成績は散々でした。

* 赤旗将棋・囲碁全道大会の常連で、空知代表で、全道囲碁交流会5連破
の吉田六段名誉本因坊も参加していました。

それでも、最後になってようやく調子がでて、強豪の吉田六段に勝って
溜飲を下げる事が出来ました。

試合は、完全スイス方式で、対局時計使用です。小規模の大会では、珍
しく実に立派な大会でした。

次の日、足痛で足を引きずって歩いています。

囲碁は、棋力でなく、体力だどつくづく思いました。

成績は会の通りです。

A級 ^{1位} 大川五段(空知), ^{2位} 岡崎五段(札幌)

B級 ^{1位} 西塔初段(札幌), ^{2位} 池内5級(札幌)

池 弘美

いつも通信、その他 お世話になっています。
会の皆様 生き生きと生活していらっしゃる。詳しい動きが
わかるし、納得できるのが、現実の教育現場を支援したり、
連携を持ちたいが具です。

土門 玲子

おたより、ひかり、楽しく読ませていただきました。
懐かしい方々の写真や近況報告もじっくり読みました。

土反 本三男

遅くなってすみませんでしたが、腰痛がひどくなり
活動がしぶくなり体力の低下を感じます

北 海 道 新 聞

「大間」建設再開
即時撤回すべき

山口 徹 65

(苫小牧市)

福島原発事故は、命と健康の危険にさらされ、住む場所を奪われた多くの人々を生み出し、農業などに多大な被害をもたらしています。そうした状況や世論を踏まえ、2030年代に原発稼働ゼロとする政府の方針が示され、一歩前進かと感じました。

しかし、枝野経済産業相が、青森県の大間原発の建設再開を容認する意向を示したとの報道に、政府の「原発ゼロ」の方針は、多くの国民の「原発ノー」の声をかわす方便にすぎないのでは、と疑念を持ちます。

ブルサーマル発電の大間原発は、事故が起きた場合、より大きな放射能被害をもたらす危険性が指摘されています。大地震や大津波に

襲われた場合、誰が安全だと言い切れるのでしょうか。さらに、原発は建設にも廃炉にも莫大な費用がかかります。そんな原発建設をなぜ再開し、リスクを負うのか分かりません。

しかも、放射能を遮るものもない30km圏内の函館市が建設凍結を求めていることに対し、枝野氏は「周辺自治体には関与する権限はない」と言います。そこには、国民の命と財産を守る意識はみじんも感じません。大間原発の建設再開は即時撤回すべきです。

9月21日(金)

読者の声

「近頃の世と僕ら」の会報、頂きましたのでお返します。

メッセージを頂けてよかったです。感謝しています。

退職者の会ですので年齢がくれば死と迎えるとは避けられませんが、仲間が支え合い、できる活動を続けることも素敵なことだと思っています。山口さんの事務局にはいろいろお世話になります。今後共々よくお願いします。

追伸 「銀のぼく記念館」の中心となり活動なされて
いる宗廣先生の紹介ありがとうございました。浅野さんも
事務局長として活動されていて、お二人のあひだに
記念館は全国の寄金でできました。今後更に必ずい
いことば...)

2012. 10. 28

金崎 重彌

* 金崎さんの便りに、カラー刷りの室蘭の会報が入っていましたので、残念ながらカラー刷りではありませんが同封しました。

佐田 啓さん・菅宮 勉さん・中田 啓さん
を招いて

さようなら原発

お原稿の採録も歓迎です!
大岡原稿の採録も、朝日(秋のこみ)持ち込みも歓迎です!
自然エネルギーへの転換を!

「さようなら原発北海道1万人集」
日時: 10月13日(金)午後6時
場所: 札幌ホール(中央区北4条)
参加費: 500円

さようなら原発北海道1万人集

10月13日は10000人集まろう

2012. 10/13

札幌・大通公園西8丁目

13:00~ オープニング
13:30~ 集会
15:00~ デモパレード

主催: さようなら原発1000万人アクション北海道実行委員会
協賛: 札幌市議会(24区) 道庁(24区) 北海道電力(24区) 北海道労働組合連合会(24区)

佐田 啓 (TAKEDA KEI)
菅宮 勉 (SUGAYAMA TSUTOMU)
中田 啓 (NAKEDA KEI)



原発ゼロ訴える

全国一斉に集会と抗議行動

苦小牧

昨年3月の東日本大震災による福島第1原子力発電所事故から1年8カ月が経過した11日、全国各地で一斉に原発ゼロの集会と抗議行動が行われた。苦小牧市内では、市民

苦小牧市役所の西広場で決起集会を開催。いまだに収束しない原発事故の対応を強く非難し、政府に対して原発ゼロと脱原発を強く訴えていくことを確認し合った。

集会後は、市役所前からJR苦小牧駅周辺にかけて「ピースパレード」を行った。参加者は「原発は殺人機械」「子供を守る原発ゼロ」「再稼働NO!」などのプラカードを手に、「国民の大多数が原発ゼロに賛成しています。輪に加わって一緒に歩きましょう」と市民に呼び掛けた。



原発反対を訴えて中心部を練り歩いた

～ 11月12日付 苦小牧民報より ～

16日に脱原発集会と講演会

苦小牧

脱原発を考える集会と講演会「さようなら原発1000万人アクションin苦小牧」が16日午後2時から、苦小牧市文化交流センターで開かれる。主催者の同実行委員会が10日、苦小牧市役所で記者会見を行い、概要を発表した。

集会と講演会は、同日に作家の大江健三郎さんや瀬戸内寂聴さんの呼び掛けで東京の代々木公園で行われる中央集会と併行開催する。苦小牧教会の協賛。事務局は脱原発・自然エネルギーをすすめる苦小牧の会。

参加費300円。北大名誉教授の石城謙吉さんが「苦小牧市民にとつての原発問題」自然エネルギー

ギー研究センター長の友詔雄さんが「自然エネルギー社会実現に向けて」と題して講演する。

同実行委員会メンバーは「原発は、地域や子供たちの将来に関わる重要な問題。ぜひ多くの市民に参加してほしい」と語った。問い合わせは、事務局の斉藤さん。電話090(2074)3540。

脱原発集会・講演会をアピールする実行委員会メンバー



〈「7月16日 さよなら原発1000万人アクションin苦小牧集会」苦小牧民報より〉

今、苦小牧中央図書館を考える

〈苦小牧「図書館を考える会」〉

今、苦小牧中央図書館は指定管理者に業務を委ねようとしています。果たして、それは最良の方法なのでしょうか。

私たち「図書館を考える会」はいろいろな疑問を感じています。

- (1) 市の財産である図書館を、本当に民間に委ねていいのですか。
- (2) 地域、学校、ボランティアなどとの連携は担保できるのですか。
- (3) 今まで蓄積してきた図書館情報や専門性など、9年に一度更新する指定管理者に、お任せしていいのですか。
- (4) 図書館の生命である「選書と除籍」を民間で問題ないのですか。
- (5) 図書館司書は資格があるから即、能力を発揮できるものではありません。一般にはその施設で10年経たなければ一人前にならないのは、他の有資格者と同様です。そのことをどう理解したらいいのですか。
- (6) なにより市は財政環境の改善のためとの説明をしていますが、その前に「図書館の未来像」や「今、図書館ができること」などのポリシーが何ら表現されていません。
- (7) 以上の質問等を5月に市長に提出しても、まだ回答がありません。市民、あるいは利用者のコンセンサスは必要ないと考えているのですか。

以上のことから、広く市民の皆さんのご意見を下記、日時にお聞きしたいと思しますので、是非、ご参集ください。

記

とき 10月27日(土)午後1時30分

ところ 市民会館 一階 101室(入口案内所、向かい)

連絡先 電話・Fax 0144-35-0234



図書館の指定管理
市立中央図書館の指定管理者制度導入に対する、図書館協議会が導入反対を答申したとの報道に、当然の答申であり拍手をします。最近、財政難を理由にさ

まざまなものに指定管理者制度を導入して民間へ移行する動きがありますが、図書館はその自治体の文化レベルを象徴する代表的な施設で、市民の文化の象徴です。民間の運営ではいずれ営利優先になり、文化レベルの向上への役割は忘れられると思います。市は指定管理者制度導入を撤回すべきです。

(苦小牧市、男性)

〈 11/15苦小牧民報より 〉

第50回 苦小牧母親大会へのお誘い
一生懸命生き出す母親は、生命を育て、生命を守ることを望みます。

記念講演
平和な未来を子どもと拓く
—いじめ、学力問題と子どもの権利問題—

講師 高橋尚子氏

11月11日(日) 13:00~13:30	受付 オープニング	13:30~13:50	講演
13:50~14:15	質疑応答	14:15~15:00	終了

会場：苦小牧市市民会館 第一ホール
〒777-0711 和歌山県和歌山市東 1-1-1
TEL: 073-421-1111

主催：苦小牧市市民会館 実行委員会
共催：和歌山県和歌山市東 1-1-1
TEL: 073-421-1111

協賛：苦小牧市市民会館 実行委員会
共催：和歌山県和歌山市東 1-1-1
TEL: 073-421-1111

協賛：苦小牧市市民会館 実行委員会
共催：和歌山県和歌山市東 1-1-1
TEL: 073-421-1111

協賛：苦小牧市市民会館 実行委員会
共催：和歌山県和歌山市東 1-1-1
TEL: 073-421-1111

協賛：苦小牧市市民会館 実行委員会
共催：和歌山県和歌山市東 1-1-1
TEL: 073-421-1111

「苫小牧 図書館を考える会」

毎月第2金曜日 13:30～15:30、苫小牧市立図書館

2階で意見交流会を開催しています。苫小牧はもちろん、他の地域の図書館の状況はどうなっているのでしょうか。皆さん気軽に参加して、色々意見交流しませんか。多数の参加を期待しています。

落ち葉堆肥化を推進

堀川さん夫妻ら グループ旗揚げ

環境教育運動へ

苫小牧市穂原町の堀川伸三さん(69)、節子さん(72)夫妻、白新町の徳弘孝三さん(68)が中心となって、落ち葉の堆肥化事業や地域で進める市民グループ「土と葉しく睦まじく」を今月、旗揚げした。作った堆肥を学校花壇、菜園、公園緑化などに使い、次世代への環境教育や地域ぐるみの運動に育っていく考えだ。

落ち葉堆肥は、板で作った枠の中に落ち葉を入れた水ぬか、鶏糞補助剤を加えて踏み固め、翌年の5～8月、月1回につき回すことで出来上がり、花壇や菜園に用いられる。学校教室内で出た落ち葉は、従来の「燃えるごみ」として処分しており、学校で児童、生徒が取り組めば、ごみの減量と処理費削減ができる。と、理屈が通じることができた。仲三さん(68)は、この事業を推進する。節子さんは、この事業を推進する。節子さんは、この事業を推進する。



落ち葉堆肥作りの様子(提供)

堀川夫妻と徳弘さん(右)

「(中岡亮太(園長)がぬかと鶏糞補助剤の代わりになる完全堆肥を、いずれも無料提供してくれました。」と、節子さんは、この事業を推進する。節子さんは、この事業を推進する。節子さんは、この事業を推進する。

2012年(平成24年)11月21日(水曜日)

苫小牧新聞

「教育全国署名」

一人一枚の署名をお願いしてあります。現在事務局に届いているのは、13名分14枚です。11月末まで2次締め切りですが、12月中旬最終締め切りです。集まり次第、地区役員の方へ届けて頂くか、以前同封の返信用封筒で事務局まで返送下さい。その時、内容は自由ですので、文芸・近況等、一緒に同封して頂けると助かります。返信お願いします。

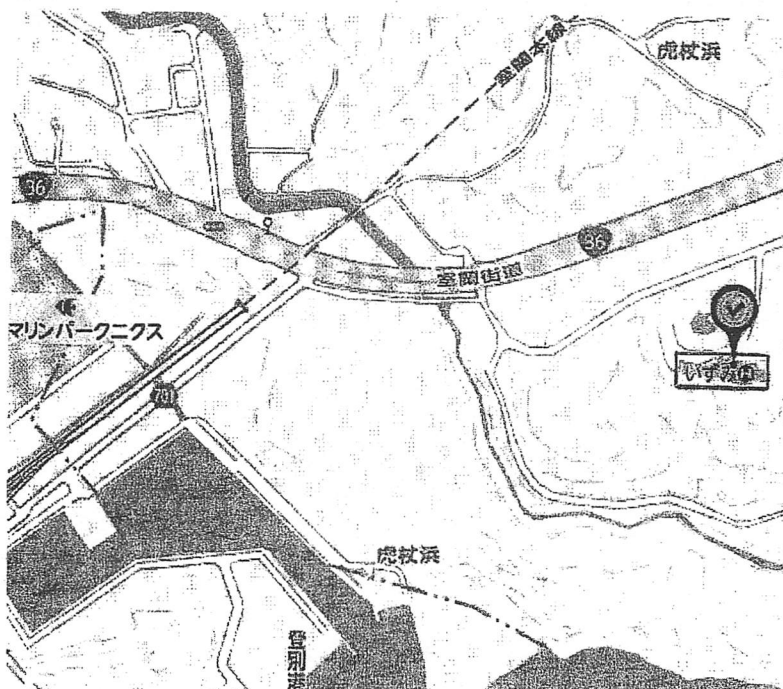
(伊達地区役員) 黒田 孝(☎0142-25-4212)

(室蘭地区役員) 金崎 重彌〈☎0143-59-5569〉
 成重 恒夫〈☎0143-59-2022〉
 (登別地区役員) 藤井 孝三〈☎0143-83-3124〉
 (白老地区役員) 岡澤 幸一〈☎0144-87-4287〉
 (苫小牧地区役員) 熊本 修 〈☎0144-74-5585〉

「交流会」

大変遅くなり申し訳ありません。予定は下記の通りです。返信用葉書を同封してありますので、返信宜しく御願います。多くの方の参加を期待しています。

- (1) 日時 2013年1月16日(水)～17日(木)
 16日(水) 14:30～受付
 15:00～17:00 学習会
 18:00～夕食・交流会
 17日(水) 9:00～チェックアウト、自由解散
- (2) 会場 白老虎杖浜「ホテルいずみ」
 〒059-0641 白老町虎杖浜312-1
 ☎0144-87-2621



(3) 学習会

苫小牧の小形尚子さんが、「保健室を通して見た子ども達の様子」や、「いのちの授業」等について話してくれます。意見交換では、再燃した「いじめ」等、日頃考えたり、気にかけていたりしていることを交流しましょう。

(4) 参加費 10,000円

互助会券利用の方は、当日御持参下さい。日帰りの方は、返金があります。

(5) 申し込み締め切り

2011年12月26日(水) 必着

* 返信に、「氏名の記入」をお忘れなく。

* 参加の際の交通手段などの相談は、事務局山口迄連絡下さい。

* 道退教会費

会費が未納になっている方には、郵便局の振込用紙を同封しましたので、送金下さい。納入と行き違いがあった場合は、お許し下さい。

----- 低気圧被害、お見舞い申し上げます -----

いつもの「冬の嵐」と思っていたら、とんでもない風雪の被害。登別・室蘭の会員の方が、始まったばかりとはいえ、冬の寒さの中での耐久生活をせざるを得なくなりました。電気が不通になったために連絡も取れず、ガソリンスタンドも営業できないところが続出、灯油も買うことが出来ないなど、生活が大混乱です。

何人かの会員の方と電話が通じ、様子をうかがったところ、何とか凌いでいるとのこと。「風邪を引かないように。何か必要なことがあれば連絡を。」と言うことしか出来ませんでした。

様々な災害に誰もが見舞われる可能性がある昨今、何かあった時は、遠慮なく会員相互で助け合いたいものです。

1月の交流会、沢山の女性の参加を期待しています。
前回参加の女性も久し振りに会って話かほす入っています。
した。